

1. 第22回日本丸マスターズ

2010年5月14日(金)に東名御殿場カントリークラブにて開催。7名が参加。

順位	氏名	Out	In	GR	SH	DCP	NET
優勝	佐藤 精吾	4644	90	16.8	73.2		
第2位	長崎 浩一	4341	84	10.8	73.2	BG	
第3位	松山 英明	5548	103	24.0	79.0		
第4位	由本 欽路	53	51	104	24.0	80.0	NP(2)
第5位	川島 通明	5049	99	18.0	81.0		NP
第6位	伊藤 隆輔	6053	113	28.8	84.2		BB
第7位	小永井 晃	6264	126	40.8	85.2		

今回は大町船長より寄贈された優勝カップの取りきり戦を兼ねた戦い。朝の冷え込みが予想されていたので寒さ対策は万全。佐藤氏の指導でたっぷり20分間ものストレッチ体操をしてスタート。その中で若手の長崎氏は半袖シャツでゴルフに集中。2つのパーディを取り、ベスト・グロスで優勝と思われたが、今年初ゴルフの佐藤氏が適度に乱れ、ハンディキャップを稼いで同ネットと並ぶ。年齢順でカップは佐藤氏が獲得。NPは由本氏が2個、川島が1個獲得。



終わって「時之栖」に直行。中伊豆のワイナリー視察という仕事を作

って!? 仲條氏が合流。ゆったり温泉につかってから浴衣姿で表彰式を。御殿場高原ビールと仲條氏差し入れの赤・白の甲州ワインで華やかに。夕食はグラントーブルにて、ビール5種類飲み放題プランを利用し、スペアリブやピザ等で大盛会でした。(T2:川島さん)

2. 定演無事終了

前夜の混乱から、白石さん、小永井さん、実行委員会のみなさんの奮闘、そして船員たちの開き直りで、何とか開幕。ゲネプロで何箇所か落ちたので、マエストロも、落とすよりはと譜面を持つことを承認。これで安心した人も多数。

佐藤さんの酔っぱらいは、完全に観客の心を一つにしました。あの受けで、あとは一気呵成。



打ち上げは、久保田実行委員長の「暑さ寒さも定演まで。」で、本当に肩の荷が下りた感じ。長

崎さんの「10ヶ月振りに音取りと暗譜から解放された夜」でした。

まずは、波多野さんを偲び「逢かな友に」。

マエストロのコメント「大町さんは、大した物をつくった人だ。いろんな所にイズムがあって、ステージに立った途端、すっとわかって、流れに乗れた。大町さんという中心が居なくても、大町さんが発した波を受けたメンバーの波動があるのを、ひしひしと感じた。意外と『ひょうたん島』もイケた。モー娘を超えたかも。お客さんが『日本丸は楽しい』というが、これが財産だ。みなさんと知り合えて、誇りに思う。」

学生さんもよく手伝ってくれました。そしてコメントも。西片君「みなさん、心が若い。」苅部君「先生は自分の感性と違うといってたけど、今日は乗ってた。」友延さん「あ、こんな先生もいたんだ。」相原さん「とってもステキでした。」午前中から来てくれた秘書役の国泉さんは打ち上げは欠席。

ますみ先生のコメント。いつも「すみません。ありがとう。」と言ってるけど、きょうもまた、すみません、そして、ありがとう。草っ原から集まって、コーラスになるのが本物。マンデラさんが解放されたときもそうだったが、日本丸もまるで同じ。日本丸は出来たときは下手だった。そのくせ、どこでも歌う。ドックヤードで、野毛で、桜木町駅で歌う。アベックが寄ってくると、さらに乗る。指揮法も知らないのに指揮する人もいる。素晴らしい少年たちに乾杯。

その後、松尾さんの一発芸や高井さんの扇子芸などで大いに盛り上がった夜でした。

3. 定演のエピソード

それは定演も終わり、外でお客様の見送りをしていた時でした。若い女性が『こんにちは』と声をかけてきました。ハテこんな可愛い娘さんを招待した覚えもないしと戸惑ってましたが、続けて『覚えてますか?』と云われ、なんか悪い事したのかな、コリヤまずい、飲み屋の女の子かなと頭の中はパニック状態。

やっと思い出しました。

6月の練習日に、大町団長の車椅子を押して桜木町駅から教室まで送って来てくれた女性でした。その時にお礼のつもりでチケットを2枚『彼氏と一緒に来てね』と差し上げました。まさか来てくれるとは思っていませんでした。

どうも定演には一人に来ていた様子でしたが、やさしくて可愛い子なのに彼氏がないとは.....

どなたかいい人を紹介してあげて下さい。所がかんじんな名前や連絡先事を聞いていませんでした。残念! (T1:前田さん)